防災に関わる生徒の安全確保等の対応について

本校では「横浜市学校防災計画」（平成 26 年 5 月改訂）に基づき、生徒の安全確保のために次のように対応します。

1 大規模地震（震度 5 強以上）が発生

原則として当日および翌日は休校

登校後に発生した場合は、留め置きとし、保護者等による引き取り

2 暴風警報・大雪警報・暴風雪警報・特別警報（種類は問わない）が横浜市内（神奈川県全域又は神奈川県東部）に発表された場合

午前 7 時の段階で警報が継続中の場合は、臨時休校

登校後に発表された場合は状況に応じて、授業時間繰上げ、下校や留め置き等の措置

【資料】 「特別警報」とは

気象庁はこれまで、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害が起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけていましたが、これに加えて、今後この警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波、噴火等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、新たに「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼びかけるようになりました。

3 富士山の噴火による「火山灰」の降灰予報

午前 7 時の段階で市内に降灰予報が発表された場合は臨時休校

原則として、大量の降灰が継続している間は休校。

- ◆ これらの警報、予報が発表されていない場合は休校とはなりません。安全に十分にご配慮されますようお願いいたします。